

CADWe'll Tfas 15 CADWe'll Tfas 15 E

環境移行手順書

株式会社ダイテック
2026 年 4 月

目 次

PC 交換時の環境移行の流れ	1
環境のバックアップ	2
環境の復元	6
『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル	11
保存先フォルダについて	13

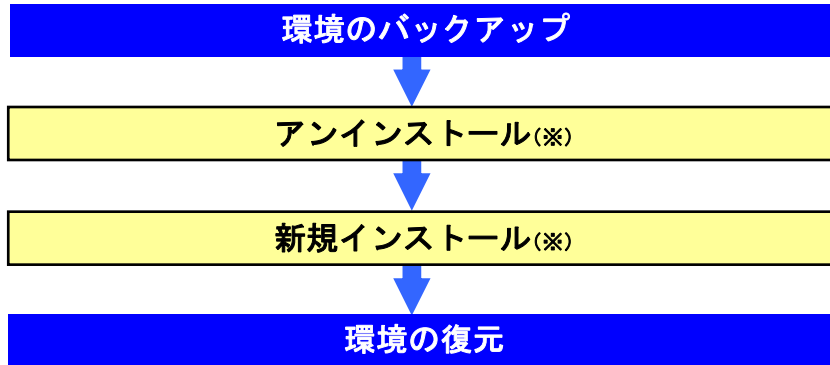
- 「CADWe'll Tfas」は株式会社ダイテックの商標であり、「CADWe'll Tfas」にかかる著作権、その他の権利はすべて株式会社ダイテックに帰属します。
- 本書の記載内容は、予告なく変更することがあります。

PC 交換時の環境移行の流れ

●環境移行について

PC 交換時の環境移行の流れについては下記の通りになります。

■環境移行の流れ



(※) 手順の詳細は「CADWe'll Tfas 15 インストール手順書」をご覧ください。

環境のバックアップ

環境の移行を行う上で必要なデータやファイル類をバックアップします。

■バックアップの流れ

①『環境保守』によるバックアップ

- ・ Tfas の画面構成やログオンユーザーごとの設定内容をバックアップする。



② 部品ライブラリのバックアップ

- ・ Tfas の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」をバックアップする。



③ ユーザー部材ファイルのバックアップ

- ・ Tfas で作成したユーザー部材をバックアップする。

- ユーザー部材のバックアップ方法については、ダイテックホームページの「ダウンロード」－「参考マニュアル」に掲載されている「ユーザー部材利用ガイド」をご参照ください。



④ その他のファイルのバックアップ

- ・ Tfas で作成した図面、テンプレートをバックアップする。
また、現在設定されているテンプレートのファイル名を確認する※。

※ 現在設定されているテンプレートは、[設定]メニュー[環境設定]([環境設定]ダイアログ[図面]タブ－[新規図面・DXF/DWG 図面・Jw_cad 図面]項目)で確認できます。

■図面・テンプレートファイル

分類	ファイル	拡張子
図面	図面ファイル	.tfs
	図面ファイル	.tfx
テンプレート	テンプレートファイル	.tft

- ・ ①でバックアップされない移行対象ファイル(P11 参照)をバックアップする。

次ページ以降で、上記①②について説明を行います。

● 環境保守によるバックアップ

使用している Tfas の環境保守情報を保存します。

※ 環境保守で保存できる項目については、[CADWe'll Tfas 環境保守]ダイアログのヘルプ(下記手順 2.で<ヘルプ>ボタンをクリック)を参照してください。([環境保守のヘルプ]ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

◎環境保守を起動する前に、CADWe'll Tfas を終了しておきます。

◎OSによりアプリの起動方法が異なる場合があります。

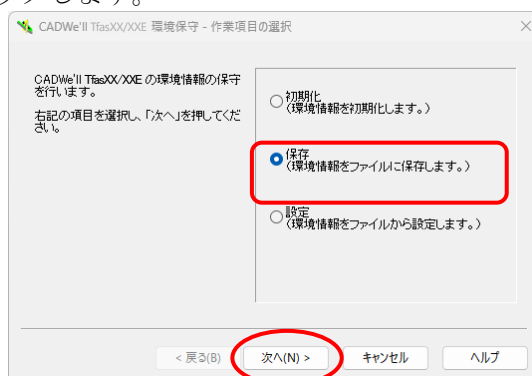
◎初期表示される保存先フォルダは <CommonDocument> です。

※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照
これ以外に保存する場合は、保存先をメモしてください。

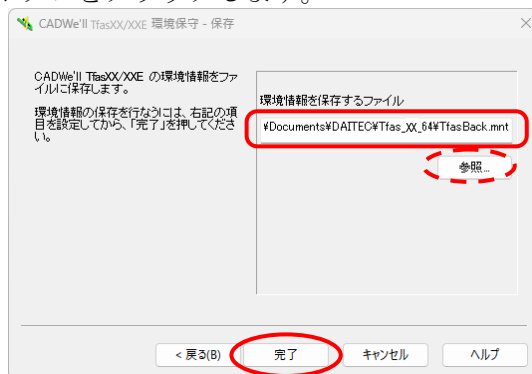
◎<参照>ボタンをクリックすると、[CADWe'll TfasXX 環境保守]ダイアログが表示され、フォルダを確認しながら保存先を指定することができます。

◎指定フォルダ内に既に同じファイル名で登録されている場合、上書き確認のメッセージが表示されます。

1. スタートボタンをクリックし、アプリの一覧から [CADWe'll Tfas XX] – [Tfas XX 環境保守]をクリックします。
※XX の部分はバージョン番号が表示されます。
2. [CADWe'll Tfas XX 環境保守 – 作業項目の選択]ダイアログが表示されますので、[保存]項目を ON にして<次へ(N)>ボタンをクリックします。



3. [CADWe'll Tfas XX 環境保守 – 保存]ダイアログが表示されますので、環境保守情報を保存するファイルの保存先を指定し、<完了>ボタンをクリックします。



4. 保存完了のメッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これで環境保守情報の保存は完了です。

● 部品ライブラリのバックアップ

使用している Tfas の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を保存します。

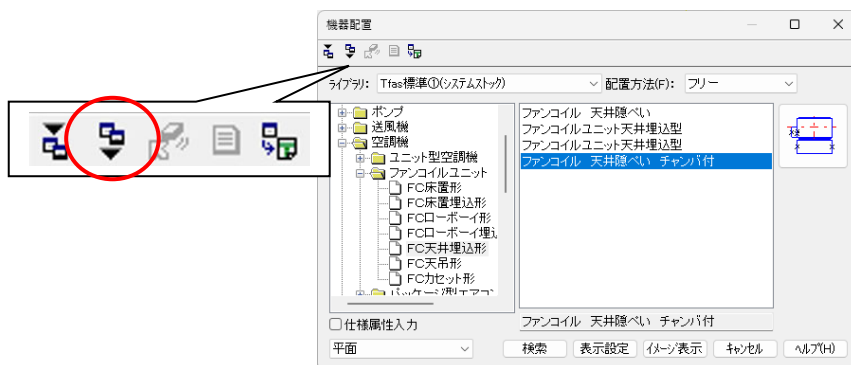
注意

- ・「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の保存は設備ごとで行う必要があります。
- ・「共有」で使用している他 PC の「ユーザストックライブラリ」を保存する必要はありません。

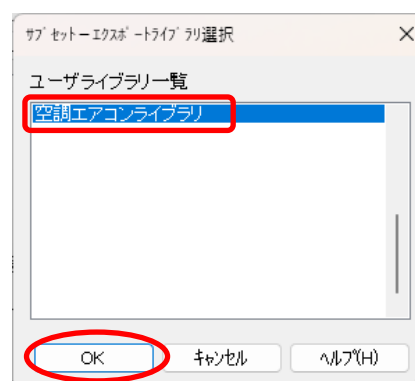
※「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の保存(エクスポート)の詳細は Tfas のヘルプ「サブセットライブラリをインポート、エクスポートする」トピックを参照してください。

◎電気設備の場合は、[電気]メニュー[部品]ー[通常配置]で部品ファイルのエクスポートを行うことができます。

1. 使用している Tfas を起動し、[空調/衛生]メニューから[機器・器具]ー[配置]をクリックします。
2. [機器配置]ダイアログが表示されますので、[サブセットライブラリのエクスポート処理]ボタンをクリックします。



3. [サブセットーエクスポートライブラリ選択]ダイアログが表示されますので、登録したユーザストックライブラリまたはユーザデスクライブラリを選択し<OK>ボタンをクリックします。

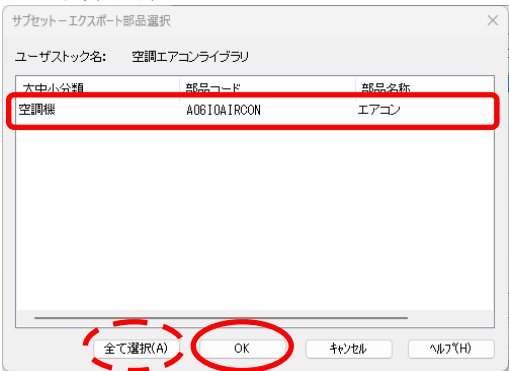


◎全ての部品を選択する場合は、<全て選択(A)>ボタンをクリックします。

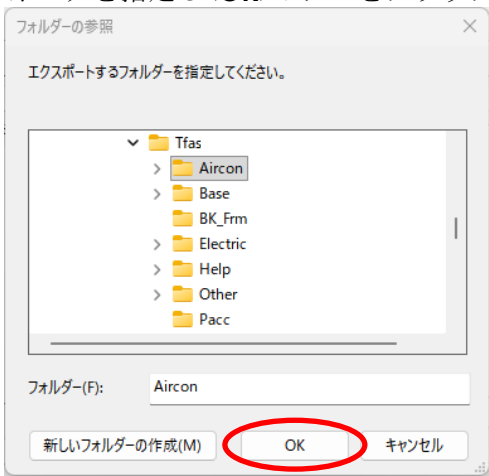
◎初期表示される保存先フォルダは
<CommonAppData>¥
<設備フォルダ>
です。
※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照
これ以外に保存する場合は、
保存先をメモしてください。

◎<新しいフォルダーの作成(M)>ボタンをクリックすると、
選択フォルダの直下にフォルダを作成することができます。

4. [サブセットーエクスポート部品選択]ダイアログが表示されますので、
保存したい登録済み部品を選択し<OK>ボタンをクリックします。



5. [フォルダーの参照]ダイアログが表示されますので、保存先のドライブやフォルダを指定し<OK>ボタンをクリックします。



6. [サブセットライブラリのエクスポート処理]ダイアログが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これでエクスポート処理(ライブラリの保存)は完了です。

※エクスポートすると下記のファイルが作成されます。

■Tfas				xxxxx : 数字
設備	ユーザストックライブラリ		ユーザデスクライブラリ	
空調設備	AUSxxxxx.ncp	AUSxxxxx.mdb	AUDxxxxx.mdb	
衛生設備	SUSxxxxx.ncp	SUSxxxxx.mdb	SUDxxxxx.mdb	
電気設備	EUSxxxxx.ncp	EUSxxxxx.kdb	EUDxxxxx.mdb	EUDxxxxx.usr
	EUSxxxxx.mdb	EUSxxxxx.usr		

環境の復元

環境の移行を行う上で必要なデータやファイル類を復元します。

■復元の流れ

① 『環境保守』による復元

- ・ バックアップした画面構成やログオンユーザーごとの設定内容を Tfas 15/Tfas 15 E に復元する。



② 部品ライブラリの復元

- ・ バックアップした「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を Tfas 15/Tfas 15 E に復元する。



③ ユーザー部材ファイルの復元

- ・ バックアップしたユーザー部材を Tfas 15/Tfas 15 E に復元する。

➤ ユーザー部材の復元方法については、ダイテックホームページの「ダウンロード」-「参考マニュアル」に掲載されている「ユーザー部材利用ガイド」をご参照ください。



④ その他のファイルの復元

- ・ バックアップした図面、テンプレートを Tfas 15/Tfas 15 E で開き保存する。また、Tfas 15/Tfas 15 E で使用できるよう、保存したテンプレートを適宜設定[※]する。
※設定は、[設定]メニュー[環境設定]([環境設定]ダイアログ[図面]タブ-[新規図面・DXF/DWG 図面・Jw_cad 図面]項目)で行います。
- ・ バックアップした移行対象ファイル(P11 参照)を復元する。
また、Tfas 15/Tfas 15 E で使用できるよう、復元した移行対象ファイルを適宜設定する。

次ページ以降で、上記①②について説明を行います。

● 環境保守による復元

「環境保守情報のバックアップ」にて保存した環境保守情報を Tfas 15/Tfas 15 E に取り込みます。

※ 以降の手順は Tfas 15 用で記載していますが、Tfas 15 E でも同様の手順で操作してください。

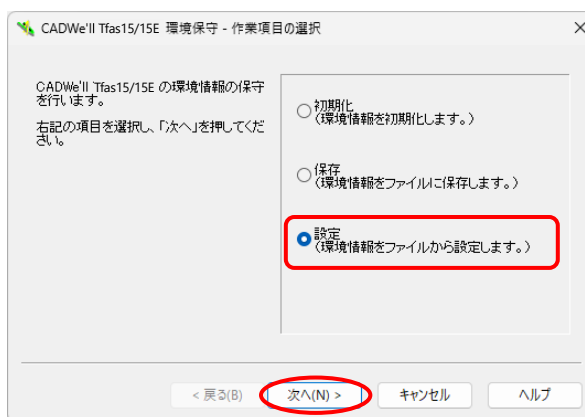
※ 環境保守で設定できる項目については、[CADWe'll Tfas 15/15 E 環境保守]ダイアログのヘルプ(下記手順 2.で<ヘルプ>ボタンをクリック)を参照してください。([環境保守のヘルプ]ダイアログの[キーワード]タブで、表示したい設備を選択し、<表示(D)>ボタンをクリックします。)

◎環境保守を起動する前に、CADWe'll Tfas 15/15 E を終了しておきます。

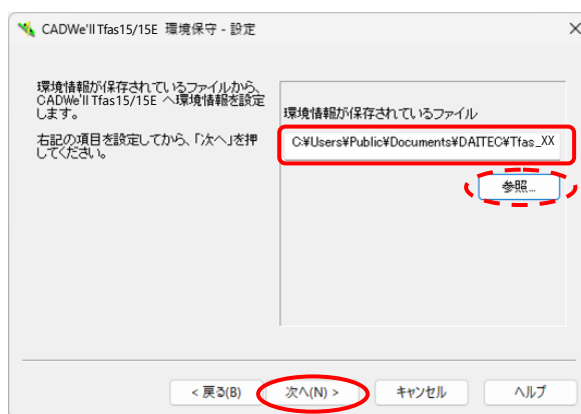
◎OSによりアプリの起動方法が異なる場合があります。

1. スタートボタンをクリックし、アプリの一覧から [CADWe'll Tfas 15]—[Tfas 15 環境保守]をクリックします。

2. [CADWe'll Tfas 15/15 E 環境保守—作業項目の選択]ダイアログが表示されますので、[設定]項目を ON にして <次へ(N)>ボタンをクリックします。



3. [CADWe'll Tfas 15/15 E 環境保守—設定]ダイアログが表示されますので、環境保守情報が保存されている場所とファイル名を指定して<開く(O)>ボタンをクリックし、<次へ(N)>ボタンをクリックします。



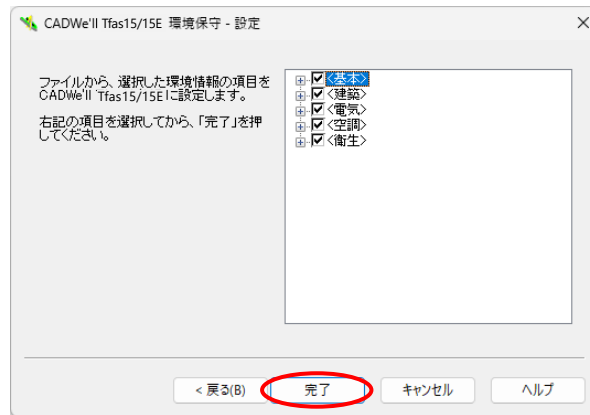
◎保存時に初期表示された <CommonDocument> を指定します。

※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照
これ以外に保存した場合は、その保存先フォルダを指定してください。

◎<参照>ボタンをクリックすると、[CADWe'll Tfas 15/15 E 環境保守]ダイアログが表示され、フォルダを確認しながら保存先を指定することができます。

◎分類の左側の[+]をクリックすることによって、更に細かい分類別に設定する・しないを指定することができます。

4. [CADWe'll Tfas 15/15 E 環境保守－設定]ダイアログに設定項目がツリー表示されますので、各分類からシステム内に設定したい項目を ON に設定し、<完了>ボタンをクリックします。



5. 設定完了のメッセージが表示されますので、<OK>ボタンをクリックします。

これで保存した環境保守情報の取り込みは完了です。

● 部品ライブラリの復元

「部品ライブラリのバックアップ」にて保存した Tfas の「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」を Tfas 15/Tfas 15 E に取り込みます。

注意

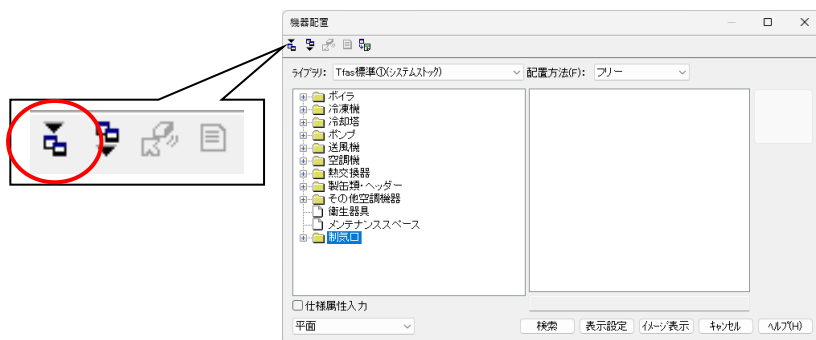
- ・「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の取り込みは設備ごとで行う必要があります。
- ・「ユーザストックライブラリ」を「共有」で使用する場合、手順4で「共有」を選択しインポートを行ってください。この際、「共有」で使用する「ユーザストックライブラリ」が[機器配置]ダイアログ^(※)のライブラリリストに表示されていないことを確認の上、インポートを行ってください。
(※)衛生設備は[機器・器具配置]、電気は[部品配置]ダイアログに読み替えてください。
- ・「ユーザストックライブラリ」⇒「ユーザデスクライブラリ」の順に取り込みを行ってください。

※「ユーザストックライブラリ」「ユーザデスクライブラリ」の取り込み（インポート）の詳細はヘルプ「サブセットライブラリをインポート、エクスポートする」トピックを参照してください。

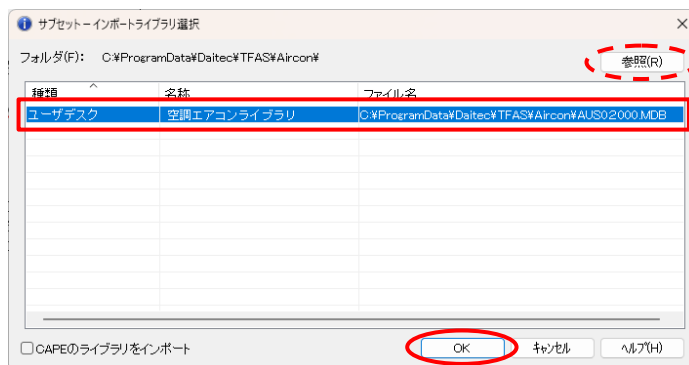
◎電気設備の場合は、[電気]メニュー-[部品]-[通常配置]で部品ファイルのインポートが行えます。

1. Tfas 15 を起動し、[空調/衛生]メニューから[機器・器具]-[配置]をクリックします。

2. [機器配置]ダイアログが表示されますので、[サブセットライブラリのインポート処理]ボタンをクリックします。



3. [サブセット-インポートライブラリ選択]ダイアログが表示されますので、保存したユーザストックライブラリまたはユーザデスクライブラリを選択し<OK>ボタンをクリックします。



◎初期表示される保存先フォルダは
<CommonAppData>¥
<設備フォルダ>
です。
※ 詳細は「保存先フォルダについて」(P13)を参照
これ以外に保存した場合は、
<参照>ボタンをクリックし、その保存先フォルダを指定してください。

◎取り込み方法について

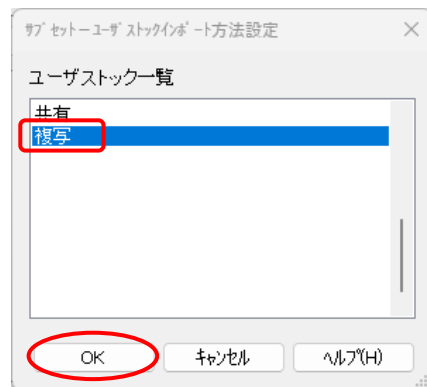
・「共有」

他の PC やサーバにある部品ライブラリを皆で共有して使用する場合に選択します。

・「複写」

他の PC やサーバにある部品ライブラリを自分の PC に複写して使用する場合に選択します。

- 4. [サブセット—ユーザストックインポート方法設定]ダイアログが表示されますので、ファイルの取り込み方法を選択し、〈OK〉ボタンをクリックします。**



- 5. [サブセットライブラリのインポート処理]ダイアログが表示されますので、〈OK〉ボタンをクリックします。**

これでインポート処理(取り込み)は完了です。

『環境保守』でバックアップされない移行対象ファイル

以下は[Tfas 環境保守]でバックアップされない移行対象ファイルです。バックアップ時の確認用としてご活用ください。

(1) [Tfas 環境保守]の対象フォルダ以外に保存した設定ファイル

下表の設定ファイルは、[Tfas 環境保守]でのバックアップ対象ですが、対象フォルダ以外に保存したファイルは、バックアップされません。手動でバックアップ・復元を行ってください。

1) 基本機能の設定ファイル

《対象フォルダ》 <CommonDocument>%Base とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子	備考
印刷	マージンファイル	.mgn	
ハッチパターン	ハッチパターンファイル	.ptn	
色一括変更	色一括変更設定ファイル	.t@c	
線幅一括変更	線幅一括変更設定ファイル	.t@w	
色・線種・線幅	色・線種・線幅ユーザ設定ファイル	.t@d	
	線パターンファイル	.t@p	

2) 空調・衛生設備の設定ファイル

《対象フォルダ》 <CommonDocument>とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子	備考
作図設定(空調)	作図規則ファイル	.ots	
作図設定(衛生)	作図規則ファイル	.sts	
拾い(空調)	拾い設定ファイル	.hri	
拾い(衛生)	拾い設定ファイル	.hri	

3) 電気設備の設定ファイル

《対象フォルダ》 拾い以外 : <CommonAppData>とそのサブフォルダ全て

拾い : <CommonDocument>とそのサブフォルダ全て

分類	ファイル	拡張子	備考
部品・姿図	部品登録情報ファイル	.eci	
	旧部品登録情報ファイル	.ely	
	照度計算マスタファイル	.lig	
配線	配線パレットファイル	.plt	
拾い	拾い設定ファイル	.hri	

※フォルダの詳細は「保存先フォルダについて」(P13)」参照

(2) その他のファイル

下表のファイルは、[Tfas 環境保守]でのバックアップ対象外です。
手動でバックアップ・復元を行ってください。

1) 基本機能のファイル

分類	ファイル	拡張子	備考
部品	部品ファイル(Normal.ncp)	.ncp	
	その他部品ファイル	.ncp	
レイヤ	レイヤパターン	.xml	
	レイヤ整理情報ファイル	.lrt	
	レイヤー一覧ファイル(出力のみ)	.csv	

2) 空調・衛生設備のファイル

分類	ファイル	拡張子	備考
機器・器具	仕様属性ユーザ項目ファイル	.sau	
マスタメンテ	直管種類・継手種類マスタファイル※	.dcs	
拾い	拾い表 DB ファイル	.hdb	
	集計表 DB ファイル	.sdb	

※[マスタメンテ]でエクスポートした直管種類・継手種類マスタファイルが対象です。

3) 電気設備のファイル

分類	ファイル	拡張子	備考
回路番号	回路番号設定ファイル	.crc	
部品	照度計算データファイル	.csv	
	負荷容量合計表ファイル	.csv	
配線	傍記テーブル設定情報ファイル	.csv	
拾い	拾い DB ファイル	.mdb	
		.edb	

保存先フォルダについて

<標準の保存先フォルダ>

略号	フォルダ
<CommonDocument>	C:¥Users¥Public¥Documents¥Daitec¥Tfas
<CommonAppData>	C:¥ProgramData¥Daitec¥Tfas

《補足》

本マニュアルでフォルダ表記が"< CommonAppData>¥<設備フォルダ>"となっていた場合、"<設備フォルダ>"部分を空調設備は「Aircon」、衛生設備は「Sanitary」、電気設備は「Electric」に読み替えてください。